

わかば

2020. 5. 16
(令和2年) 第20-6号

文責 校長 保谷 力

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

教育目標 「帰国後、日本の教育に円滑に適応できるよう、日本の学校における学習指導要領に沿った国語、算数(数学)の学力の維持、併せて生活・生徒指導を行う。」

重点目標 一人一人の笑顔輝く学校づくり～期待登校・満足下校～

子供たちの笑顔に会えました！

校長 保谷 力

先週、はじめてのオンライン授業が行われました。久しぶりの学校でドキドキしていたのは子供たちばかりではありません。先生方も初めてのことが多く、前の日から緊張しながら当日の授業に臨んでいました。しかし、どの先生方も子供たちの笑顔に出会えたことを大変喜んでいました。PJSではその日の午後に、オンライン職員会議を開き、先生方が感じた問題点や課題について話し合い、次回から始まる授業の準備に役立てております。当日はハード面の問題よりも、途中離席や家庭内の話し声など、いくつか学習環境についての課題も出てきました。中・高等部においては、出席時にビデオがoffになっている生徒がおり、本人確認ができないという問題も確認されました。しかし、全体を通して、園児・児童・生徒が大変意欲的に授業に取り組み、先生方はほっとしたようです。

早速、1年生の保護者より、オンライン授業の様子が届きましたのでご紹介いたします。

さて、来週からは本格的な授業が始まります。ご家庭内の学習環境については、引き続きご支援をお願いいたします。入室時の本人確認は、セキュリティ対策としても重要になります。寝起きを見られたくないなど、理由はいろいろあるかと思いますが、十分ではない環境の中で皆と一緒に学ぶことのできる手段であることをご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

【保護者の声より】

- 授業時間は学年相応だと思いました。とてもよく準備された授業だと感じました。
- オンライン越しに歌ったり、みんなが描いた絵を真剣に見ていたり楽しそうに授業を受けていました。
- 人見知りの傾向が強い娘は、授業前は非常に緊張していたようですが、リラックスした雰囲気緊張が溶けたのか、授業を楽しんでおりました。
- 学校に通えなくてとても残念ですが、オンライン授業を通して先生やお友達と繋がれることに感謝しています。
- 楽しんで授業を受けられたようで、来週も楽しみと話していました。ありがとうございます。




運動会・学芸会について

コロナウィルス感染防止のためのロックダウンにより、ポートランド日本人学校が閉鎖となり、学習カリキュラムの進度が大幅に遅れているところです。そこで、教育委員会とも協議の上、止む無く、本年度の運動会及び学芸会の開催を中止することを決定いたしました。子供たちの安全と学力の保持を最優先といたします。ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

改定の POINT③

これからの子供たちに求められる資質・能力とは何に？

新学習指導要領では、これからの子供たちが身に付けなくてはならない資質・能力を以下の3つに決めました。

- | | | |
|----------------|--------------------------------|---|
| ◇ 知識・技能 | 何を理解しているか、何ができるのか。 |  |
| ◇ 思考力・判断力・表現力等 | 理解していることをどのように使うことができるか。 | |
| ◇ 学びに向かう力、人間性等 | 社会とかかわりながら、学んだ事を人生や社会に生かそうとする。 | |

したがって、教師が評価を行う際（テスト等の採点）は、すべてこの3つの観点に基づいて採点され、評価されるのです。POINT①で説明しましたように、小学校は本年度から、中学校は来年、高等学校は再来年より実施されます。当然のことながら、大学入試制度も数年後には、こうした学習の観点を考慮に入れて行われるようになります。

次回は上記3つの観点を具体的な言葉を提示してお伝えします。



檸檬爆弾

青空文庫は、「著作権が消滅した作品や著者が許諾した作品のテキストを公開しているインターネット上の電子図書館」だ。明治から昭和初期の作品が多く収録されている。今回は、その中から『檸檬』を紹介しよう。

梶井基次郎の『檸檬』は、高校の現代国語の教科書に載っていたから、読んだことがある人も多いかもしれない。肺を病み神経も病んで鬱々としていた若者（おそらくは梶井本人）が、八百屋で買ったレモンを丸善の本売り場に置いてきてちょっと気が晴れる、というだけの短い話である。

この文章では、色合いや肌触りが鮮やかで生き生きとしている。

暗い周囲のなかでそこだけ妙に明るい八百屋の店先に珍しく並んでいた「レモンエロウ」の檸檬。熱っぽい手にひんやりと快い冷たさをもたらした檸檬。「鼻を撲つ（うつ）」香りを放つ檸檬。丸善の本売り場でいたずらに積み重ねたいくつもの美術本から溢れ出る色彩と、ふと思い立ってその上に置いてみた檸檬。爆弾に見立てた檸檬。

色が、温度が、香りが、文章から飛び出して目の前に迫ってくるようだ。つい先ほどまで鬱々としていた若者の、いたずらを企むような不敵な笑みが目に浮かび、彼の晴れ晴れとした気持ちも知らず知らずのうちに伝染してくる。

ごく短い話なのですぐに読めるが、YouTubeには朗読版もあり、こちらもなかなか味わい深くオススメです。